

も く じ

1	序 論	5
2	サンプリングに対する一般的な注意	7
2.1	一般論	7
2.2	測定点や測定器の配置上の注意	16
2.2.1	設置高度	17
2.2.2	地域的影響を除外した測定点の選び方	21
2.3	測定点の配置法（多数汚染源の場合）	22
2.3.1	PbO ₂ 円筒およびダストジャーの配置法	22
2.3.2	ハイボリウムエアサンプラーの配置法	24
2.3.3	テープエアサンプラーの配置法	25
2.3.4	SO ₂ 測定点の配置法	26
2.4	測定点の配置法（単一汚染源の場合）	28
2.4.1	単一汚染源の影響の調査点配置法	28
2.4.2	単一汚染源からの拡散の測定の一例	29
2.5	最小必要測定（点）数	31
3	大気汚染現象解析のための数学的諸手法	33
3.1	はじめに	33
3.2	統計手法	33
3.2.1	基本的事項	34
3.2.2	いろいろな分布型の特性と推定および検定について	38
3.2.3	相関性，独立性	53
3.2.4	汚染物濃度の時間的变化と時系列分析	64

3・3 多次元解析手法	71
3・3・1 回帰分析.....	71
3・3・2 分散分析.....	74
3・3・3 成分分析・因子分析.....	77
3・3・4 数量化理論Ⅰ類.....	81
3・3・5 数量化理論Ⅱ類.....	84
3・3・6 数量化理論Ⅳ類.....	88
4 気象と汚染物濃度の関係および 大気汚染データの平均値, 最高値のまとめ方	91
4・1 はしがき	91
4・2 サンプリング時間と汚染物濃度の関係	93
4・3 気象要素の測定	106
参考文献.....	113
索引	115

